

Ⅲ めざすべき教育の姿

県総合計画では、基本目標を「人がほほえみ、地域が輝く“ほっとする、ふくしま”」として、「人と地域が輝く『ふくしま』を「ふくしまの礎」として位置づけ、「ふくしまを支える柱」として「いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』、「安全と安心に支えられた『ふくしま』、「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」の3つを置いて、30年程度先を展望し実現を目指す「めざす将来の姿」を描いており、その実現に向かって取り組んでいくこととしています。

このうち、教育に関わる30年程度先のめざす将来の姿は、主に次のように描かれています。

「ふくしまの礎（いしずえ）」

【人と地域が輝く『ふくしま』】

- 地域全体でのかかわりの中で、子どもたちがいのちを大切にし、思いやりの心、自立心、地域に対する知識と愛着、そして社会の一員としての自覚を持ち心身ともに健やかに育っています。
- 子どもたちが将来の目標を見据えながら確かな学力と国際的な感覚を身につけ、一人ひとりの可能性を広げて、夢と希望を実現することができる社会となっています。
- 家庭、学校、職場、地域など、あらゆる場面で、性別にかかわらず、男女とも、自らの能力を発揮できる社会となっています。
- 本県の歴史や伝統文化が大切にされているとともに、子どもから大人まで、さまざまな文化活動、スポーツ活動などを行うことができる場が用意されており、さらにはこれらに多くの人々が触れ、支える「文化」が根付いています。
- 一人ひとりがそのライフステージ¹²に合わせて、さまざまな学習や体験ができ、これらを通して自己実現を図る環境が整っています。

「ふくしまを支える柱」

【いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』】

- 伝統文化を始めとした文化やスポーツ活動を通じた交流や国際的なイベントの開催などにより、本県の魅力が広く世界に発信されるとともに、国際的な視野を持つ多くの人々により国際協力活動が盛んに行われ、本県と海外各国との間での文化交流・相互理解が進むことによって、本県の新たな活力が生まれて

¹² ライフステージ……人間の一生において節目となる出来事(出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職等)によって区分される生活環境の段階。

います。また、あらゆる面で世界各国との交流が高まり、国際的な経済交流が活発化しています。

【安全と安心に支えられた『ふくしま』】

- 地球温暖化などによる気候変動や異常気象に備え、道路や河川管理施設などが計画的に整備されているとともに、大規模地震に対しても、公共施設や民間施設における耐震化が進み、安全で安心して利用されており、自然災害に対して強い地域となっています。

【人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』】

- 援助が必要な子どもや家庭に対する社会全体の支援が充実し、すべての子どもが周囲から大切にされるようになっていきます。

1 基本理念

県総合計画の教育に関わる30年後のめざす将来の姿を踏まえ、基本理念を次のように設定します。

“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり

本県には、温かい県民性やお互いを支え合う地域社会の絆、恵まれた自然環境や優れた文化・伝統、7つの生活圏や「はま・なか・あいづ」に象徴される多様性などの特性があります。

この特性を生かしながら、学校、家庭、地域が連携・協力し、県民が一体となって豊かな教育環境を形成し、ハーモニーを奏でるように人づくりを進めていきたい。

そして、ふくしまの子どもたちが、豊かな人間性、社会性を身につけ、活力に満ち、社会に貢献しながら自立して人生を切り拓いていくための「確かな学力」と「健やかな体」を持つ、創造力にあふれた「こころ豊かでたくましい人」に育ててほしい。

こうした想いを県全体で共有していくため、本計画の基本理念として掲げます。